

□ 要請番号 (JL02418A33)

募集終了



| 国名 | 職種コード 職種 | 年齢制限 | 活動形態 | 区分 | 派遣期間 | 派遣隊次 |
|-----|----------|------|------|----|------|-------------------|
| ラオス | H105 看護師 | | 個別 | 新規 | 2年 | ・ 2018/3 ・ 2019/1 |

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

保健省

2) 配属機関名 (日本語)

サバナケット保健短期大学

3) 任地 (サバナケット県カイソン郡) JICA事務所の所在地 (ビエンチャン特別市)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (飛行機で約 1.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

2005年に日本の無償資金協力にて校舎改修および機材供与を受けた。看護コースとプライマリヘルスケアコース、助産師コースがある。専属教師は29人、外部講師は103人で、学生数は総数507人(プライマリヘルスケアコース213人、看護コース246人、助産師コース48人)である。過去にはMCNV、WHO、GlobalFund、UNFPAなどが支援を行っていた。現在、韓国のKOICAボランティアが2019年までIT分野にて活動を行っている。2009年から2011年まで1名の青年海外協力隊(看護師)が活動していた。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

配属先には実習室が1室あるが、実習を教える技術と経験のある教師がほとんどおらず、現在は教師経験を持たない看護師・助産師が各コースを教えている状態である。そのため、実習室の機材や教材が活用されていない。実習室の教材や機材を有効に活用し、実習内容を充実させ、学生の理解を深める目的でボランティアが要請された。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

1. 実習室での効果的な授業のすすめ方を教師にアドバイスを行う。
2. 実習室で授業を行う際に、人形や道具がない場合、こういった補助的な教具を作って指導すればよいのか、教師にアドバイスを行う。
3. 学生に基礎的な看護や、救命救急、母子保健などについて指導する。
4. 病院実習の際、学生に同行し、アドバイスを行う。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

車いす、ストレッチャー、血圧計、体重計、体温計、顕微鏡、聴診器、人体骨格模型、解剖模型、吸引器

4) 配属先同僚及び活動対象者

- ・ プライマリヘルスケアコースの教師1名(女性、40代)
- ・ 看護師コースの教師1名(女性、30代)
- ・ 助産師コースの教師1名(女性、20代)

5) 活動使用言語

ラオ語

6) 生活使用言語

ラオ語

7) 選考指定言語

【資格条件等】

[免許]：(看護師)

[学歴]：(大卒) 保健医療 備考：同僚への指導を期待されているため

[性別]：() 備考：

[経験]：(実務経験) 5年以上 備考：学生と同僚への指導するため

[参考情報]：

- ・看護教育経験

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：(熱帯モンスーン気候) 気温：(15~40℃位) [電気]：(安定)

[通信]：(インターネット可 電話可) [水道]：(安定)

【特記事項】